

さわやかちば県民プラザ主催事業等実施報告

実施日	令和 8年 8月26日(水)		
事業名	ちば子ども大学		
趣 旨	大学、研究所、企業、関係機関等と連携し、多様な主体の力を結集することで、子どもたちの知的好奇心を育み、学ぶ意欲を高めることのできる様々な講座を実施し、「ホンモノ」から学ぶ楽しさを体感することで、子どもたちの自らの学びを広げ、深めることを目的とする。		
会 場	陶芸室		
対 象	小学校4年生～中学校3年生		
申込方法	Web申込		
募集定員	30名	募集期間	令和 8年 7月26日から令和 8年8月1日
参加者数	28名	参加費用	無料
講師 等	東京藝術大学 芸術未来研究場 ケア&コミュニケーション領域 特任准教授 小牟田 悠介 氏		
実施内容	内容:「よくみて描く、クロッキー入門」 クロッキーの描き方について体験を通して学ぶ。 日程:午前10時 ～午前10時5分 オリエンテーション 午前10時5分 ～午前11時50分 講義、体験 午前11時50分～正午 アンケート記入、閉講  講師の小牟田先生  ヴィーナスの腕を想像中・・・  実際にモデルをデッサンしよう		
参加者 アンケート	【満足度100%】 ○最初は緊張しましたが、講座を受けている間にほぐれていき、最終的には笑顔で終われました。 ○楽しかったです。 ○普段人を描くことがあまりなかったので、とても楽しかったです。 ○自分でポーズを想像するのが楽しかったです。 ○絵が苦手だったので、少しくまくなれて嬉しかったです。 ○クロッキーのことが詳しくわかったし、楽しくできました。		

	○専門家の方に美術を教えてもらい、知識が深まりました。なかなかない機会であり、楽しかったです。 ○自分の興味のあることについて、たくさん知れたのでまた参加したいです。 ○重心がどこにあるのか、またどの方向を向いているかをよく見て描けて面白かったです。 ○クロッキーに興味はあったけど、手を付けたことがなかったので、今回の講座で知ることができて良かったです。 ○コミュニケーション能力があがったと思います。 ○描き方や描く道具の名前を勉強できて良かったです。 ○人物と紙を交互に見ながら描くことを知れて良かったです。 ○説明が分かりやすかったです。 ○絵をもっと好きになってよかったです。 ○先生たち全員が面白くて、自分の想像力にも役立ちました。
担当者の 所感	【成果】 ・本事業の趣旨については、講師の指導のもと、実際に人物を描く上で様々な体験を入れることで「ホンモノ」から学ぶ楽しさや、子どもたちの自らの学びを広げ深めるという目的を実現できた。 ・ちば子ども大学の周知については、各教育事務所を通じて各市町村教育委員会担当課へ周知を行った。講座当日には、10市から受講生が参加し、広報の効果が伺える。 ・受講生のアンケートについては、満足度が100%と高い結果が得られた。絵の描き方を分かりやすく学ぶことができた結果であると考える。 ・会場については、講師と相談しながら準備をすることで円滑に講座を進めることができた。また、保護者を別室待機とすることで、会場を広々と使うことができた。 【課題・今後の方向性】 ・道具の準備については、専門的な物も多いため、準備に時間がかかった。事前に講師と用紙の大きさや厚さなどを具体的に確認し、余裕をもって準備する必要があると考える。